

No. 1677

オフト磐田初陣飾れず

——東京ドーム——

今期からJリーグ入りするジュビロ磐田とブラジルのクルゼイロとの親善試合が2月12日東京ドームで行われました。全日本監督だったオフト新監督のもと張切るジュビロ磐田ですがゲーム開始1分、右からのセンタリングをベレの後継者とされる17才のロナルド選手にシュートをきめられ1:0。ジュビロ磐田は人工芝でのゲームにとまどったのか攻撃のリズムに乗りきれません。30分にも再びロナルド選手のシュートをGKがハンプルしたところを押し込まれ2:0とクルゼイロがリードします。ジュビロ磐田も反撃するものの決定打不足。やっと前半41分、東芝から移籍した鈴木選手が鮮やかな左足でのシュートを決め2:1と迫り前半を終了。後半に入ると昨年のワールド・カップ予選で人気者になった中山選手を中心に攻め込みますが得点できません。結局3:1でクルゼイロが勝ち、ジュビロ磐田は東京での第一戦を飾ることができませんでした。

“いで湯の里” めざして

——奥多摩町——

東京の奥座敷、奥多摩町で無料の温泉の給湯サービスが人気を呼んでいます。昭和32年小河内ダムの完成でいったん奥多摩湖に沈んだ「鶴の湯温泉」の水没を惜しむ旧村民などが東京都に陳情、湖底の湧き出し口から100メートルの導水管を地下に埋めてお湯をポンプで汲み上げる工事が2年前に完成、源泉口から溢れるお湯を地元や近郊の人々が持ち帰るポリタンクの列が毎日つづいています。旧村民などでつくる奥多摩愛護会が中心になってお湯の権利を獲得。奥多摩湖畔にある「鶴の湯温泉郷」の旅館や民宿に週3回、午前・午後タンクローリーで配湯しています。毎分200ℓ、湯温30°、傷の治療、皮膚病、などに効くとあって温泉を訪れる客も増加しているようです。また青梅線奥多摩駅近くにも町がボーリングした結果3年前に源泉をみつけ平成4年に「奥多摩温泉」と名付けられ現在は無料の給湯を行っていますが町では今年になって「氷川温泉建設協議会」を発足させ将来は「いで湯の里・奥多摩」を名物に具体的プランを練りはじめたようです。